

新聞の『声・気流』などを話し合う会の特性

1. 新聞の『声・気流』などを話し合う会のイメージは、“持ち前の頭”でザックバランに話し合う、いわば、井戸端会議や床屋談義の感覚です。講演会や講座や授業などとは性格が大きく異なります。

ですから、遅刻・早退・欠席・出席、全てOKです。

2. この会の目的は、「話し合う」ことにあります。

①事実認識の多い人も少ない人も、「話し合う」時間はあります。

②論理展開が正確であろうとなかろうと、「話し合う」時間はあります。

③価値判断が一貫していようとまいと、「話し合う」時間はあります。

④事実認識が多く、論理展開が正確で、価値判断が一貫して話すことは難しいですが、出来る限り、話し手も聞き手も、歯車が噛み合い、情と理がともに叶うように「話し合う」ことを目的とします。(暴言・暴力・その類が認められないことはごく常識です。)

3. 話題は、政治・経済・社会・スポーツ・文化など、何でもOKです。

4. この会の唯一最大の制限は、発言時間に制限を設けていることです。一人の発言時間は、話題の提供者は4分以内とか、その他の発言者は2分以内などと制限します。発言なしもOKです。